



【京都】サンキ(京都市伏見区、大久保康社

サンキ 細胞培養処理安全に 小型遠沈管 ラック「YS-DCTR-OII」 保温機能付き

長、075・934・6(631)は、保温機能を持った小型の遠沈管ラック「YS-DCTR-OII」を発売した。温風を使った溶液保温や、コンパクトサイズで、クリーンベンチ(囲い付き作業台)内で操作でき

るなど細胞培養処理などが安全にできる。価格は7万9000円(消費税抜き)。ホームページなどを通じて販売するほか、OEM(相手先ブランド)供給も検討する。

再生医療関連など研究者の要望をもとに操作性や安全性を重視した。遠沈管は4本をセットでき

る。本体は幅180ミリ×高さ95ミリ×奥行き75ミリの小型でクリーンベンチの中で操作できる。管は50ミリ、15ミリの2種を用意。温風循環で管の溶剤を32度-42度Cの範囲で保温設定できる。

細胞培養などの培地に使う溶液は人の体温に近い37度C前後に温める。従来は湯煎方式が一般的でクリーンベンチの外で使用するため、コンタミネーション防止で作業時は手間や焦りになりがちだった。